

事前評価調書

I 事業概要																													
事業名	治山事業（予防治山事業）																												
地区名	おおよまなかし 大山仲島																												
事業箇所	こまきし おおあざ おおよまなかし 小牧市大字大山字仲島 地内																												
事業のあらまし	当該溪流では、溪岸の侵食及び不安定土砂の堆積が進行し、周辺住民の不安が高まっている。このため、地元からの要望と荒廃状況を勘案して、治山ダム工を実施する。																												
事業目標	【達成（主要）目標】 荒廃溪流を保全し、山地災害の未然防止を図る。 【副次目標】 —																												
事業費	事業費		内訳																										
	0.6億円		■工事費 0.6億円、□用補費 億円、□その他 億円																										
事業期間	採択予定年度	2023年度	着工予定年度	2024年度	完成予定年度	2026年度																							
事業内容	治山ダム工2個																												
II 評価																													
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では溪流の荒廃が進み、山地災害の発生が懸念されている。地元からは治山事業による荒廃溪流の整備が強く望まれている。 また、「費用便益分析マニュアル」に基づき算定したB/Cは15.89と1.0を超えており、効果が期待できる。																											
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。																										
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種 区分</td> <td>工事</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・治山ダム工</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>							2024	2025	2026	合計	工種 区分	工事	←→				・治山ダム工	←→				事業費（億円）		0.2	0.2	0.2	0.6
			2024	2025	2026	合計																							
工種 区分	工事	←→																											
	・治山ダム工	←→																											
事業費（億円）		0.2	0.2	0.2	0.6																								
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理はなく、地元の了解を得ており、事業の実効性が期待できるため。																											
III 対応方針																													
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																												
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																													
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 治山ダム工周辺の溪流の状況から事業効果を評価する。																													